

末より現在まで計9回を開催。参加社数130、約170名の参加で進んでいます。商品開発の課題・テーマについて、らでいっしゅぼーやの開発担当者としてしっかり目合わせをしていく、加工食品における「栽培管理表」と位置付けている「商品規格書」をよりしっかり整備していくことが眼目の会議です。年度内にあと7回開催の予定。

また、今期前半に「水産原料ネットワーク」の設立が決まりました。下期中有志による設立準備会議を開催することとし、これに引き続き「漬物ネットワーク」の構想が進んでいます。

### ●作る人と食べる人の交流、 スローフードツアー ……交流部会

今年度新設の交流部会は、日常行なわれているらでいっしゅぼーや主催の「元気市」「収穫祭」「産地交流ツアー」などへの助成を軸に、新たな取り組みとして当会主催の消費者交流ツアー、イタリアに本部を置くスローフード協会視察旅行が企画、実施されています。消費者交流ツアーではその第一回として畜産幹事・会の副会長である高橋祐之氏の地元・えりも町をフィールドに選定し、らでいっしゅぼーやのご協力により約50名の参加となりました。また10月末実施の「イタリア・スローフードの旅」は14名の参加により今年開



役員会では各部会の担当役員に分かれて討議も行なわれる。

催されたスローフードイベント「Salone Del Gusuto(サロネ・デル・グスト=食の祭典)」を視察、協会本部のほか各地の生産農家の訪問を行いました。また、新しい交流の仕組みとしての「らでいっしゅ村」構想についても討議が進められています。

消費者交流は「作る人」の「地域」を知る取り組みであり、スローフードは食を軸としたその地域の伝統や文化を知る取り組みとも言えます。いずれも「交流」という方法で内容が表現され易く、今後どのような進め方が求められるのか、広く皆様のご意見をまとめていければと考える次第です。

### ■次なる飛躍に向けて ……夢を実現しよう！

これらの活動成果を受け、今回の役員会では、「2003年度活動計画とりまとめ」と題し、議案として事務局から次年度活動案の検討の開始をお

願いしました。次年度計画の骨格としては「技術向上」「相互交流」の活動2本柱を継承していくことが確認され、これまでの蓄積の延長線上に、どのような活動が求められるかを、各部門ごとに討議していくこととなりました。

また、今年度は役員非改選の年度であり、当初予定により総会は開催しないこととなっている関係上、計画とりまとめの段階で会員のみなさまへのアンケート等による意見徴取を行ない、より多くの会員の参加に支えられる会の運営を心がけることとなりました。

とりまとめの日程は、各部会案を12月13日にとりまとめ、同時に12月中に会員アンケートを実施、年明け1月開催予定の第15回Radixの役員会にて検討、決定していく予定です。皆様の積極的なご意見をお願いします。

## 地域の在来種に着目しよう！

今回の役員会の冒頭、緒方相談役（らでいっしゅぼーや（株）代表取締役社長）から、次年度の活動に向けた新たな提案をいただきました。「らでいっしゅぼーやは来年から、在来種（それぞれの地域で昔から栽培されていたほとんど流通されなくなっている品種、自家用でわずかに残っている、昔ながらの栽培方法が残っているなど）を体系的にらでいっしゅの会員様に紹介していきたいと考えています。ぜひ地域に残る希少な作物、食材がある場合には情報のご提供をお願いします。これらを来期の取り組みとし、しっかりと内外に伝えていきたい」。

この提案をぜひとも次年度の農産部会活動の柱のひとつに高めていきたいと思っております。生産者の皆様で情報や栽培実績のある方がおられましたら、ぜひご一報をお願いします。事務局では情報の取りまとめを進めつつありますので同報を。担当は鈴木。また次年度研究として成田国寛氏への委託を検討しています。

※第14回Radixの役員会資料等詳細をご希望の方は事務局までお問い合わせください。